

「ヨシュアの最後のことば」

ヨシュア記 23章14~16節

1

見よ。きょう、私は世のすべての人の行く道を行こうとしている。あなたがたは、心を尽くし、精神を尽くして知らなければならない。あなたがたの神、【主】が、あなたがたについて約束したすべての良いことが一つもたがわなかったことを。それは、一つもたがわず、みな、あなたがたのために実現した。あなたがたの神、【主】があなたがたについて約束したすべての良いことが、あなたがたに実現したように、【主】はまた、すべての悪いことをあなたがたにもたらし、ついには、あなたがたの神、【主】が、あなたがたに与えたこの良い地からあなたがたを根絶やしにする。主があなたがたに命じたあなたがたの神、【主】の契約を、あなたがたが破り行って、ほかの神々に仕え、それらを拝むなら、【主】の怒りはあなたがたに向かって燃え上がり、あなたがたは主があなたがたに与えられたこの良い地から、ただちに滅びうる。ヨシュア23:14-16

2

モーセでもヨシュアでもない

- モーセという優秀なリーダーに導かれたイスラエルは全員荒野で滅びた。
- モーセもヨシュアも死ぬ。死なないお方とそのお方の言葉に従え。比較。パウロからテモテへ
- 死は命を教えてくれる。人間は自分の力で生きているのではない。
- 人間を生かしている力は何か。自然という素晴らしいものか？その素晴らしい自然を創られたのは誰か？創造者である神。「初めに神が天と地を創られた」創世1:1

3

神を恐れ、愛し、仕え、従え！

- 天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。詩19:1
- それはあなたが私の内臓を造り、母の胎のうちで私を組み立てられたからです。私は感謝します。あなたは私に、奇しいことをなさって恐ろしいほどです。私のたましいは、それをよく知っています。詩 139:13-14
- すべての人間は神の愛の奇跡のわざ。
- 主を恐れることは知恵(知識)の初め、聖なる方を知ることば悟りである。箴言9:10 (1:7)
- あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。、、、神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。伝道者12:1, 13

4

神を恐れ、愛し、仕え、従え！

- あなたの神、【主】を愛し、御声に聞き従い、主にすがりためであるまことにこの方こそあなたのいのちであり、あなたの日々は長く続く。申 30:20 神がいのち
- これは、あなたがたにとってむなしなことばではなく、あなたがたのいのちであるからだ。このことばによって、ヨルダン川を渡って行って所有しようとしているその土地で、あなたの日々が長く続くことになる。申 32:47
- また、曲がった邪悪な世代の中であって傷のない神の子どもとなり、いのちのことばをしっかり握って、彼らの間で世の光として輝くためです。、、、ヒレビ 2:14-16
- 注意。どちらかという、私たちは自分に都合の良い箇所を好んで読むが、自分に都合の悪いところはあまり読もうとしない。自分に都合の良いところを強調する。
- 自分の思い込み、勘違いに注意。自分中心の考え方、自分に合った、都合の良い教えには注意。(自分にピッタリ、自分らしく、自分中心な考え方、生き方が人間と人間社会をゆがめている。)

5

神という現実と実現する神

- イスラエルは自分の幸せ、楽しみ、人生の成功を求めた。命を尽くして求めるべきは神
- 自分探しよりも大切なこと？自分を捜しに来てくださった神を知ること、その方を知ることが命、その方があなたを実現させる方。人間の実現(自己実現)は、神によってのみ可能。
- 私たちの夢をかなえるために神が存在するのではなく、神が夢と計画のゆえに私たちは存在する。私たちは神の永遠の愛の計画に招かれている。それが永遠の命。

6

実現させる神と現実的に生きる

- イスラエルよ。今、あなたの神、【主】が、あなたに求めておられることは何か。それは、ただ、あなたの神、【主】を恐れ、主のすべての道に歩み、主を愛し、心を尽くし、精神を尽くしてあなたの神、【主】に仕え、あなたのしあわせのために、私が、きょう、あなたに命じる【主】の命令と主のおきてとを守ることである。
申命10:12-13
- この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちにするされているすべてのことを守り行うためである。、、、強くあれ雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、【主】が、あなたの行く所どこにでもあなたとともにあるからである。ヨシュア1:8-9

7

実現させる神と現実的に生きる

- 主に仕えるということは、他の神々を捨てること。
- 主に従うことは、自分を捨てること。
- ヨシュアは救われた人々に、約束の地に入った人々に語っている。救われたからもう大丈夫ではない。神を忘れて滅びないように気をつけなさいと注意している。
- 救いは始まり。関係の始まり。誕生、結婚。信仰から信仰へ、栄光から栄光へ
- 初めと同じものが要求される。信頼、身をゆだねること。(一例)成長することが求められている。

8

実現させる神と現実的に生きる

- みことばに従うことが勝利と幸福の秘訣。みことばに従って救われ、従って生きる。
- イスラエルは神よりも土地や繁栄を求めた自分たちを満たしてくれる、幸せにしてくれる神々のほうへ行った。なぜ？そのほうが楽しそうだから。
- 土地は、神との関係の象徴「主が私の受け分」、「キリストにあって」神を受ける！
- クリスマスが受けた地＝イエス・キリスト
- 命を生きよ、楽しみ、喜べ、約束を楽しもう！

9

実現させる神と現実的に生きる

- 神より土地、富、神より救い(永遠の命)、神より天国を求める傾向。ゆがめられた福音
- 神がいのち、みことばがいのち、神といつしよがいのち。
- 神の「一緒懸命」 いつしよに生きられるように命を懸けた神＝十字架のわざ
- 神といつしよに生きることに命がかかっている
＝ 信仰

10

ヨシュアが求めるもの

- 神だけに仕えよ
- 神にふさわしいものを捧げよ 心、命、力、、、
- 神にふさわしく生きよ
- 神にふさわしいものとなれ
- 神を一番に、神がすべて(いのち)、神をすべてに(生活)、すべてを神に(栄光)
- 「あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。」
申命6:5

11